

大型クラゲ等有害生物出現調査及び情報提供事業

小泉広明

目 的

大型クラゲの出現・分布状況を試験船による把握し、漁業者等に情報提供し漁業被害の軽減を図る。

材料と方法

1. 洋上調査

試験船開運丸及び青鵬丸により、日本海及び太平洋で目視調査を実施する。

2. 出現状況調査

県内の漁協から大型クラゲの出現情報を収集し、関係機関へ提供する。

3. 標本船調査

新深浦町漁業協同組合所属の小型定置網漁船を標本船とし、大型クラゲの入網状況を調査する。

4. ブイによる水温連続観測

新深浦町新深浦町漁協（大戸瀬）沖水深 30m 地点に設置している自動観測ブイにより、水深 1m層、10m層、20m層で、水温の連続観測を実施する。収集したデータは、(社) 漁業情報サービスセンターへ送信する。

結 果

1. 洋上調査

試験船開運丸及び青鵬丸により、本県日本海側の沿岸域から沖合域にかけて調査を実施（表 1）し、その結果を洋上調査結果として(社) 漁業情報サービスセンターへ報告した。洋上調査の結果、目視では大型クラゲは確認されなかった。

表1 試験船による洋上調査結果

年 月 日	試験船名	海域	表面水温(°C)	個体数	傘径(cm)	調査方法
2011/9/1~12	開運丸	太平洋	17.6~22.7	0	—	目視
2011/9/27~28	青鵬丸	日本海	21.4~23.2	0	—	目視
2011/10/28~30	開運丸	日本海	14.1~19.3	0	—	目視
2011/11/26~29	開運丸	太平洋	7.6~15.2	0	—	目視
2011/11/29~30	青鵬丸	日本海	11.6~16.0	0	—	目視
2011/1/17	開運丸	日本海	10.1~10.4	0	—	目視

2. 出現状況調査

結果を、(社) 漁業情報サービスセンターへ報告したほか、研究所が発行する漁海況情報（ウオダス）や研究所 HP に掲載し、関係機関へ情報提供を行った。本県での今年度の大型クラゲの出現は確認されなかった。

3. 標本船調査

標本船調査の結果、今年度は大型クラゲの入網はなかった。

4. ブイによる水温連続観測

水温は6月には水深1m層で12.0～14.5℃、10m層で11.0～14.1℃、20m層で11.4～13.8℃、7月は1m層で20.3℃、10m層で18.9℃、20m層で17.7℃、8月は1m層で22.9～26.8℃、10m層で22.2～26.9℃、20m層で22.2～26.5℃、9月は1m・10m・20m層とも22～25℃台、10月は20～23℃台、11月は16～19℃台、12月は12～16℃台、1月は10～11℃台と推移した。なお、6月第3半旬から7月第5半旬の欠測はブイのメンテナンスのためである。

水深1m・20m層では9月第1半旬に、10m層では8月第6半旬に水温のピークがあり、その後、降温が続いた。ピーク時の水温は1m・10m層ともに26.7℃、20m層で25.6℃であった。

なお、観測データはメールにより(社)漁業情報サービスセンターへ送信した。

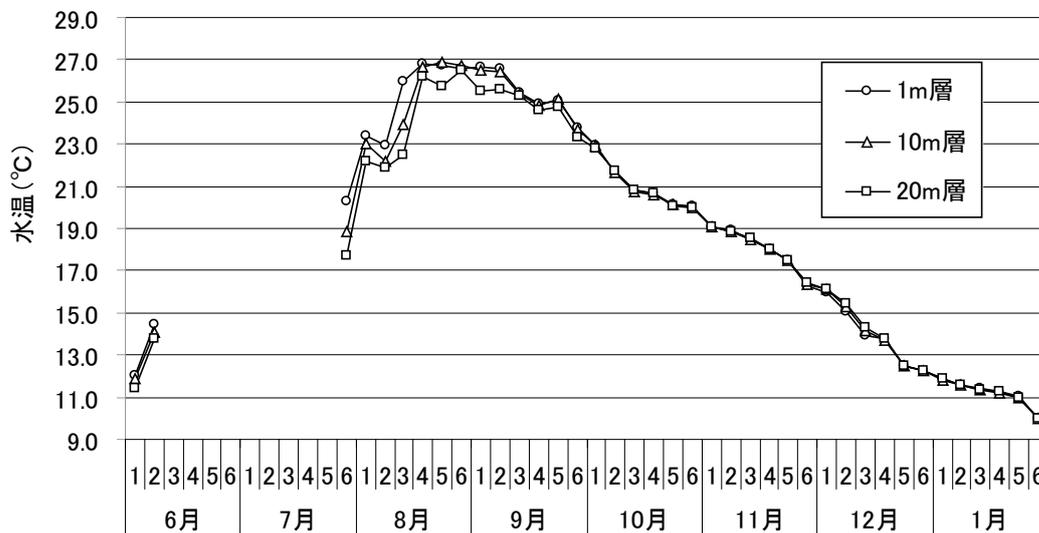


図1 水温ブイによる水深別水温観測結果（半旬）